

④現状及び課題	<p>石狩浜は、豊富な海浜植物や天然の海岸林が残る、全国的にも貴重な自然海岸である。しかし、1970年代以降、過剰なレジャー利用やハマボウフウの乱獲などにより、海浜植生の破壊が急速に進んだ。石狩浜の豊かな自然を守り回復させ、市民の財産として後世に遺していくための活動拠点として、平成12年、石狩海浜植物保護センターがオープンした。</p> <p>これまで、浜の自然情報の提供や調査研究、環境学習等に関わるさまざまな活動に、石狩市、市民、研究機関が協働して取り組んできた。</p> <p>しかし、平成29年度から運営を委託していたNPO法人が、令和2年度をもって受託を辞退し、令和3年度から直営体制となった。</p> <p>今後も石狩浜の豊かな自然を守るため、管理運営の改善を図りたい。</p>
⑤前提条件 ※事業化にあたって事業者 に考慮してほしい事項等を簡 潔にご記入ください	石狩浜は全国的にも貴重な自然海岸につき、海浜植物の保護という観点に残した事業提案をいただきたい。
⑥事業スケジュール（予 定）	未定
(2) 対象地	
① 所在地（交通情報含む）	石狩市弁天町48番1（札幌駅から約25km バスで約1時間）
②敷地面積	11,244㎡
③ 土地利用上の制約	市街化調整区域
④ 所有者	石狩市
⑤ 周辺施設等	<p>海水浴場（キャンプサイト併設）「あそびーち石狩」まで200m 石狩天然温泉「番屋の湯」まで350m 砂丘の風資料館まで400m（市直営施設） はまなすの丘公園まで1.4km</p>
⑥対象地周辺の環境	
⑦その他 （上記項目以外の情報、特徴、 留意すべきこと等）	入館料無料

(3) 対象施設		
(3) -1. 建物	既存	整備後（予定）
① 施設名称	石狩海浜植物保護センター	変更なし（予定）
② 施設の延床面積	展示棟 256.83 m ² 温室棟 42.53 m ²	変更なし（予定）
③ 建物の構成（構造、階数）	展示棟 木造2階建 温室棟 鉄骨造平屋建	変更なし（予定）
④ 主な施設の内容、導入機能	展示室、温室、観察園 ハマナス再生園	
⑤ 運営状況 （運営主体、事業手法等）	H28 まで市直営 臨時職員 1～2名と臨時職員と 正職員体制で2名常駐 H29～R2 まで NPO に委託 2名以上常駐、繁忙期は増員 （最大5～6名） R3 市直営 会計年度職員2名と正職員2名 で2名常駐	
⑥ その他 （上記項目以外の情報、 特徴、留意すべきこと等）		
(3) -2. インフラ系 （上下水道、道路等）	既存	整備後（予定）
① 施設名称	石狩市上下水道 北海道電力	既存のままを予定
② 規模、能力 等	水道：φ20mm 下水道：φ200mm 電気：従量制契約	既存のままを予定
③ 運営状況 （運営主体、事業手法 等）	—	—
④ その他 （上記項目以外の情報、 特徴、留意すべきこと等）	—	—

■ 添付資料（1 ファイル）

- 石狩海浜植物保護センターパンフレット
- 建物図面（配置図・平面図・立面図）
- 内外観・航空写真
- 入場者数

■ 参考資料

- 石狩海浜植物保護センターHP <https://www.city.ishikari.hokkaido.jp/site/kaihinsyokubutu/>
- 石狩市海浜植物等保護地区 <https://www.city.ishikari.hokkaido.jp/site/kaihinsyokubutu/700.html>
- 石狩浜ブックレット <https://www.city.ishikari.hokkaido.jp/uploaded/attachment/37052.pdf>